

# JANOG57 エンジニアリングする「組織」の育て方

## ゼロからフルリモートチームを立ち上げた話

さくらインターネット

クラウド事業本部 プラットフォーム部

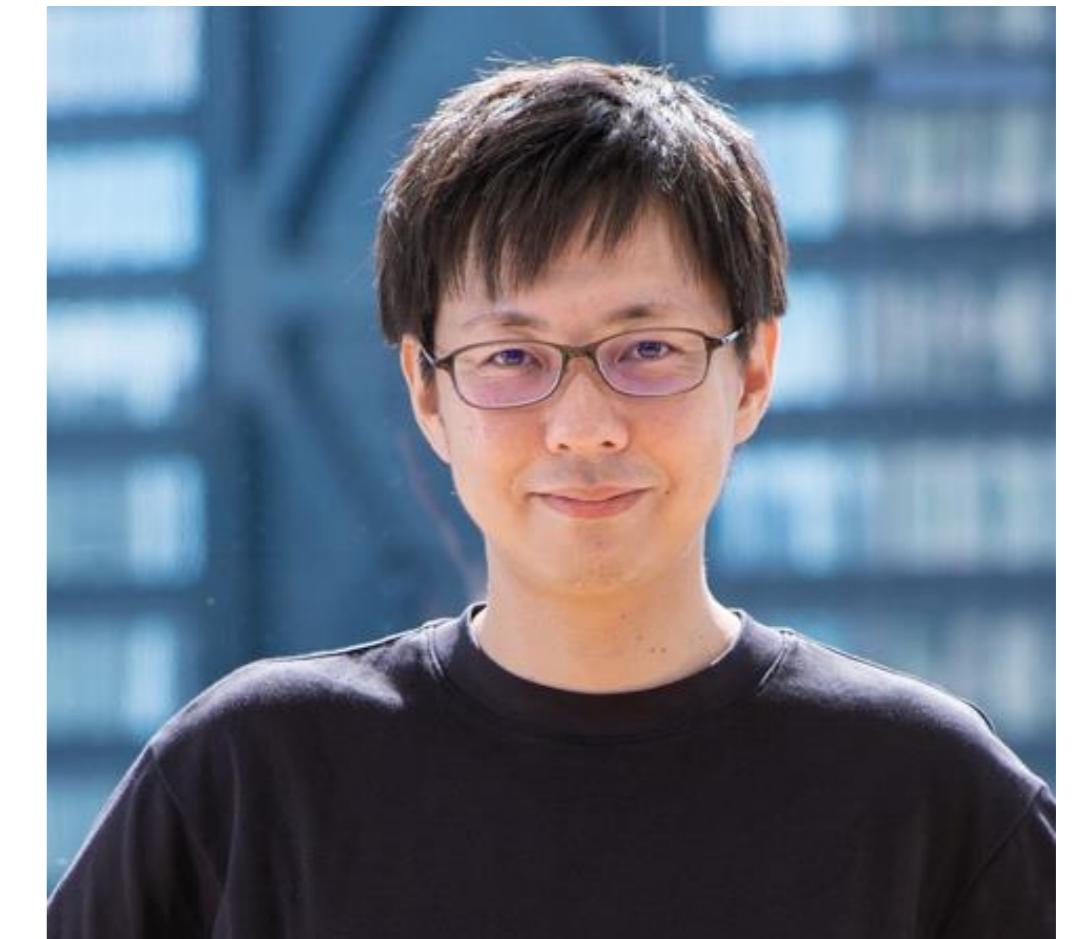
Senior Principal Network Engineer

土屋 太二



# 自己紹介：土屋 太二（39歳）

- 2024年6月から さくらインターネットに Join。



「さくらのクラウド」を中心とするサービスネットワークの再設計。

- ネットワーク業界歴: 15年。ネットワーク運用畠(BGP, NW自動化)。

本業: BIGLOBE → CTC America → Fastly → さくらインターネット

副業: “show int” YouTubeチャンネルの運営、書籍執筆

- ゼロからネットワーク設計開発チーム(フルリモート)を立ち上げることになったお話をします。

# チームを立ち上げることになった背景①

2024年6月 さくらインターネット入社！

会社「まずは会社を幅広く見ていただいて課題を探してください。

業務はあえて決めてません（裁量無限大）」

土屋「お、おう（戸惑い）」

(・・・数カ月後・・・)

土屋「コレとコレが課題ですね。特にココがヤバいです。  
この課題を解決するプロジェクトを進めたほうがよいです。」

会社「いいですね、やりましょう！」

# チームを立ち上げることになった背景②

2024年10月 全社横断で関係者を集めてプロジェクト Kick Off !

(・・・数カ月後・・・)

土屋「進捗悪いです。専任1名でNW設計検証～調達～導入は無理です。」

会社「よし、新しく人材採用してプロジェクトを本格稼働しましょう！」

会社「採用、サポートするんで土屋さん中心で進めていきましょう」

土屋「お、おう（人生初経験）」

→ゼロからPJ専任チームを立ち上げるために採用活動することに

# チームを立ち上げるためにやったこと

## 採用活動

- 職務要件(JD)の作成 (業務の魅力、獲得できる経験を全力アピール)
- 広報活動、ブログ、SNS、人材獲得戦略、なんでもやる
- カジュアル面談 & 書類面接 & 一次面接官として70件以上対応

## 新チーム立ち上げ

- オンボーディング対応、ドキュメント整備
- チームの全体方針&ゴール設定、他部門との関わり方&責任範囲の定義
- 全メンバーとの 1on1(weekly)、Team Weekly, PJ定例会議などの運営
- 歓迎会、合宿イベント、チームビルディング企画もろもろ

# 理想のエンジニアリングチームを作るコツ

## 採用は妥協しない

- 現場のエンジニアが面接の場に出て、自分の眼で判断する(大前提)
- スキルマッチは大前提、でもカルチャーフィットも同じくらい重要視。
- Web掲載の職務要件(JD)は、条件を甘くしすぎない。
  - 条件面を易しく設定 → 応募者が増える → 書類選考 & 一次面接がパンク
  - 高スキル人材はアンテナ感度も高いので、条件に合えば向こうから見つけてくれる
- 欲しい人材は簡単に集まらない。自分がやれることは全部やる。
  - 社員リファラル > 自社HPへの直接応募 >>>>>> エージェント経由応募

## チーム立ち上げ期は、コミュニケーションの「数と量」を増やす

- フルリモート前提のチームなこともあります、入社後1ヶ月は意図的に対面の機会を増やす (1on1 週1回以上, チーム合宿イベント)
- 他チームとの顔合わせも、意図的に対面の機会を作る (個別1on1, 飲み会)

# 個人的にうまくいったこと & いかなかったこと

## うまくいったこと

- 奇跡的に高スキル & 経験豊富な優秀人材を5名獲得できた。
  - 良い職務要件(JD) & [ブログ記事](#)やSNSでのチームビジョンの発信が採用に繋がった。
  - 実際の採用は、候補者のタイミングに起因するところが大きく、ただただ運がよかったです。
- (見よう見まねだったが) 新チームを立ち上げてプロジェクトを軌道に載せた。
  - 設計、仕様策定、予算獲得、経営層への働きかけなど、多くの人の力を借りて遂行できた
  - 社内の既存メンバー & 新メンバーが協力的だったおかげで障壁をなんとか乗り越えられた。

## うまくいかなかったこと

- PJ立上期(約1.5年)はやり切ったが、中長期的なマネジメントはバトンタッチ。
  - 関係部門が増えたタイミングでコミュニケーションコストが爆発 (3チーム → 10チーム以上)
  - 未経験の専門領域はタスク管理やスケジュールの見通しが困難 (プロダクト開発、事業戦略)
  - もともとマネージャー人材も採用するつもりだったのだけど、できなかつたのよ (泣き言)

# まとめ ゼロからチームを立ち上げた話

- 中途入社したら、いきなりゼロからチームを立ち上げることになった。
  - 採用は妥協しない。自分でできることは全部やる。
  - チーム立ち上げ期は対面だいじ。合意形成 & 意識合わせを大事にする。
- マネジメント未経験だったが、見よう見まねで1.5年ほどPJ運営やってみた。
  - 社内で助けていただいたみなさまに、心より感謝！！
  - 中途入社したばかりの新参者に貴重な機会をいただいた会社・上司に感謝！！
  - NW業界で長年マネージャーをやってらっしゃるみなさま、本当に尊敬です・・・。
- 優秀なチームが作れれば、チームが自律的に動いてくれるようになる。

ありがとうございました

